

今回の東北地方太平洋地震の事象

- ① 地震
 - ② 地震 + 津波
- } 自然災害

③ 地震 + 津波 + 被ばく医療

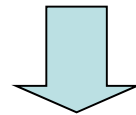
JMATの対応すべき事象

(4つに分類)

- 死亡 — 検死
- 救助を求めている — レスキュー
- 待避 — 40万人 + α
避難所・・・救護所指定による医療支援
- 健康な人 — 一般医療機関で対応

α : 避難所にいない人
+ 要医療
+ 要介護

チームの必要性



JMAT 100チーム

- ・ステッカー
- ・ガソリン等

日本医師会災害医療チーム（JMAT）

1. 支援内容

- ・被災地病院、診療所の日常診療への支援（災害発生前からの医療の継続）
- ・避難所、救護所における医療

2. 支援先、支援医師会（原則）

岩手県：北海道ブロック、東北ブロック（秋田）、東京ブロック

関東甲信越ブロック、近畿ブロック（大阪・和歌山）

宮城県：東京ブロック、関東甲信越ブロック、近畿ブロック（兵庫・奈良）

中国四国ブロック

福島県：東京ブロック、中部ブロック、近畿ブロック（京都・滋賀）

茨城県：九州ブロック

3. チーム構成（例）

医師：1人　看護職員：2人　事務職員（運転手）：1人

4. 持参資器材：上記の業務内容に応じたもの。食料品その他も同様。

5. 派遣期間：3日～1週間を目途（支援先と支援医師会との協議による）

6. 日医との連絡手段：携帯電話

7. 経費の負担：日医・都道府県医師会

- ・災害救助法等による対応
- ・日医100万円（当面）

8. 二次災害時の補償

- ・日医で対応中